



「情報教育研修会」へ黒上 晴夫 教授講演へ
所長 平安山 敏和

十一月後半から沖縄でも冬の気配が感じられるようになってきました。十一月十六日の「情報教育研修会（講演会）」の開催の際には、各学校から多数の参加がありました。感謝申し上げます。

今年度は、関西大学総合情報学部黒上晴夫教授をお招きして、「思考を促す授業デザイン」を演題に講演を行いました。

小中学校新学習指導要領の第五章「総合的な学習の時間」には講演内容に係る「考えるための技法」及び「プログラミング」について左記のとおり示されております。

第3の2の2探究的な学習の過程においては、他者と協働して課題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。その際、例えば、比較する、分類する、関連付けるなどの考えるための技法が活用されるようにすること。

第3の2の9情報に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組みことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動が行われるようにすること。第1章総則の第3の1の3のイに掲げる「プログラミング」を体験しながら論理的思考力を身に付けるための学習活動を行う場合には、プログラミングを体験することが、探究的な学習の過程に適切に位置付くようにすること。

さらに「総合的な学習の時間解説B50」には「考えるための技法」とは、考える際に必要になる情報の処理方法を、例えば「比較する」、「分類する」、「関連付ける」など、技法のように様々な場面で具体的に使えるようにするものである。（中略）「考えるための技法」を指導する際には、比較や分類を図や表を使って視覚的に行う、いわゆる思考ツールといったものを活用することが考えられる。」とあります。

講演では、「考えるための技法」を「思考スキル」と名称し「比較する」「分類する」等を図や表を使って視覚的に行う具体的な授業例が多数示されました。また、時間の都合で講演では割愛されましたが、プログラミング教育について小・中・高の系統性の確認、小学校学習指導要領の「プログラミングを体験しながら論理的思考を身に付けるための活動」から「算数（5学年）正多角形の作図」「理科（6学年）電気の性質や働きを利用した道具」でのプログラミングの手順、「総合的な学習の時間」の「プログラミング」の事例、「プログラミングと論理的思考」の関係性等が配付資料により紹介されました。参加者からは左記の感想を頂きました。

図、チャートを用いて、思考をサポートできることがわかり勉強になった。
話し合いやアイデアを出させたいとき、シンキングツールを使ってみたい。
指導要領の中の重要な語句について、実践のやり方を聞けて良かった。
授業が楽しくなりそう。慣れてくると、主体的に学び、思考を深められると思う。
子どもたちが楽しく思考させているプロセスを見直す機会になった。
プログラミング教育等についてどんな指導をしているのかヒントを得た。

「考えるための技法」や「プログラミング教育」は特に子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには不可欠なツールになってくると思います。各学校におきましても日頃の授業改善及び教育課程の見直しに今回の講演内容を役立てて下さいますようお願い申し上げます。

12月の教育研究所事業予定

4日（火）第12回 中堅教諭等資質向上研修（厚）
6日（木）第13回 初任者研修【特活G研】
13日（木）第4回 初任指導教員等連絡協議会（厚）

研究所図書室について

研究所図書室には先生方の教材研究や理論研究に役立つ書物が多数蔵書されています。図書搬送システムを使用し貸し出し可能です。是非御利用下さい。下記は今月の新刊紹介です。

書名	著者
国語の授業がもっとうまくなる50の技	瀧澤真 著
道徳の理論と指導法 「考え議論する道徳」でよりよく生きる力を育む	柳沼良太 著
小学校新学習指導要領ポイント総整理 外国語	大城賢 編著
主体的・対話的で深い学び 問題解決学習入門	藤井千春 著
言葉（〈新版〉実践 保育内容シリーズ）	谷田貝公昭・廣澤満之 編著
遊びが学びに欠かせないわけー自立した学び手育てる	ピーター・グレイ 著
中学生のための法教育11教材 ー人ひとりを大切に子どもを育むー	日本弁護士連合会市民のための法教育委員会 編著
クリエイティブな校長になろう ー新学習指導要領を実現する校長のマネジメント	平川理恵 著
論文・レポートの基本	石黒圭 著

各経年研の研究授業について

「中堅教諭等資質向上研修」の研究授業が終了しました。23名の小・中学校教諭が道徳科もしくは学級活動の研究授業を公開し、授業づくりを通して、個人の課題解決に取り組みました。研究授業には、教育研究所指導主事、学校教育課指導主事、教育相談課指導主事が参加し、指導助言を行いました。

関係校では、校長先生や教頭先生を中心に、校内の先生方からも多くの示唆を含む助言がありました。御協力ありがとうございました。

また「教職2年目研修」「教職3年目研修」の研究授業に関しましては平成31年1月までの取組となります。引き続き、よろしくお願いいたします。



経年研修の実践「学級活動・道徳掲示物」